

## 鉄道事業における夏季の使用電力量5%削減を目指します

駅冷房の稼働時間の見直し等の実施により、環境負荷の低減や電力の安定供給等に貢献

東京地下鉄株式会社(本社:東京都台東区、代表取締役社長:山村 明義、以下「東京メトロ」)は、「安心で、持続可能な社会」の実現のために、サステナビリティ重要課題(マテリアリティ)の1つである「気候変動の緩和」に向けて、夏季の節電対策を実施します。

東京メトロでは、電力消費の多くを占める駅冷房の稼働時間等の見直しによる試みにより、環境負荷の低減及び経費の削減を図るとともに、需給逼迫が見込まれる夏季の電力の安定供給に貢献します。

加えて、東京メトロ本社・現業事務所等において室温の適正管理と不要な照明の消灯を一層徹底する取組みにより、本年5月から10月における鉄道事業の使用電力量を昨年比5%削減することを目指します。

東京メトログループ役員・社員一丸となり節電に積極的に取組み、「安心で、持続可能な社会」の実現を目指してまいります。

### 東京メトログループのSDGs(持続可能な開発目標)への貢献について

東京メトログループは、サステナビリティ重要課題(マテリアリティ)の特定に合わせて、SDGsに掲げられている17の目標、169のターゲットとの関連性を整理しました。引き続きマテリアリティに係る各種施策を通じてSDGsの達成に貢献していきます。

なお、本リリースの取り組みは、主にSDGsにおける目標7番「エネルギーをみんなにそしてクリーンに」及び13番「気候変動に具体的な対策を」に貢献するものと考えています。

### 東京メトログループのサステナビリティ重要課題とテーマ

<https://www.tokyo-metro.jp/corporate/csr/materiality.html>

